

BAUHAUS 木製ベースプレート(片面ライン入り)

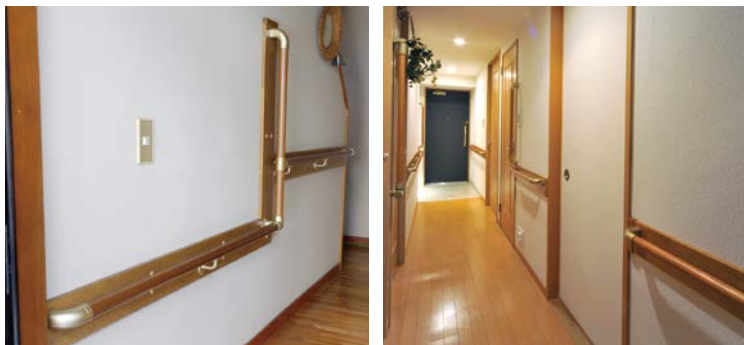
Webで詳細図面・納まり図をご覧頂けます。



売れ筋
人気があります

介護
保険

改修



手すりの出幅をおさえたい場合は P.137、159

ベースプレート用ブラケット



120mm幅 ベースプレート(集成材)

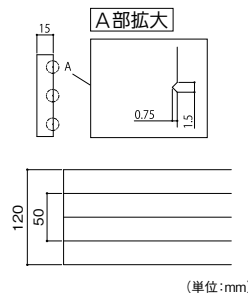
ライン入り使用例



120mm幅
×
15mm厚

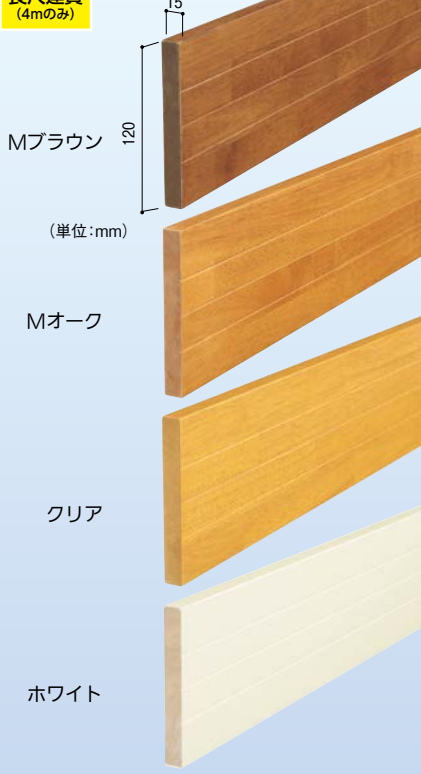
※複数枚重ねての使用はできません。

ブラケットのセンターをあわせると
施工が簡単です。



(単位:mm)

長尺運賃
(4mのみ)



マツ六 木製ベースプレート120mm幅 (片面ライン入り)

色	サイズ	品番	商品コード	価格
Mブラウン	4m	BH-414	040-2142	1枚 18,000円(税抜き)
	2m	BH-412	040-2147	1枚 9,100円(税抜き)

●材質:天然木集成材●重量:4m/約5.8kg、2m/約2.8kg ※箱入数=1枚

マツ六 木製ベースプレート120mm幅 (片面ライン入り)

色	サイズ	品番	商品コード	価格
Mオーク	4m	BH-444	040-2163	1枚 18,000円(税抜き)
	2m	BH-442	040-2168	1枚 9,100円(税抜き)

●材質:天然木集成材●重量:4m/約5.8kg、2m/約2.8kg ※箱入数=1枚

マツ六 木製ベースプレート120mm幅 (片面ライン入り)

色	サイズ	品番	商品コード	価格
クリア	4m	BH-424	040-2152	1枚 18,000円(税抜き)
	2m	BH-422	040-2157	1枚 9,100円(税抜き)

●材質:天然木集成材●重量:4m/約5.8kg、2m/約2.8kg ※箱入数=1枚

マツ六 木製ベースプレート120mm幅 (片面ライン入り)

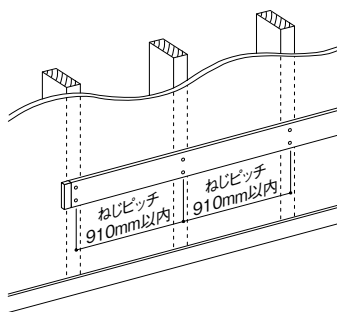
色	サイズ	品番	商品コード	価格
ホワイト	4m	BH-434	040-2162	1枚 18,000円(税抜き)
	2m	BH-432	040-2167	1枚 9,100円(税抜き)

●材質:天然木集成材●重量:4m/約5.8kg、2m/約2.8kg ※箱入数=1枚

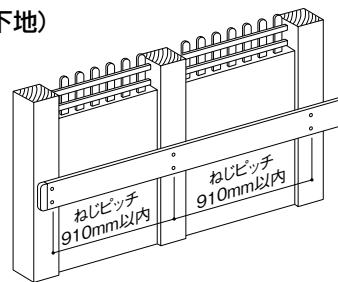
施工方法 ベースプレートの取付けについて(100mm幅、120mm幅の場合)

●910mmピッチ以内で柱(又は間柱)に固定してください。

木造壁の場合



土壁(竹小舞下地)の場合



施工上のご注意

- ブラケット横型とエンドブラケットカバー付を使用する場合は、120mm幅のベースプレートをご使用ください。(100mm幅の場合、ねじ止め位置により割れが発生するおそれがあります。)
- ベースプレートの壁固定には必ずFM割れ止めビス3.5×65mm(P.129)をお使いください。
- ブラケットの位置は、最も端にあるベースプレート固定ねじより内側になるよう取付けてください。

最新情報は
こちらから



バリアフリー

手すり

屋外用手すり

室内用手すり

トイレ用手すり

浴室用手すり

据置き手すり

手すり以外の商品

感染症対策

玄関

階段・廊下

トイレ

浴室・洗面所

寝室・居間

屋外

バリアフリー

金物

収納・内装

建築資材

水まわり

防犯

耐震・防災

ペット用品

接着・テープ・

清掃・補修

道具・工具

お役立ち

コーナー

豆知識

ご利用方法

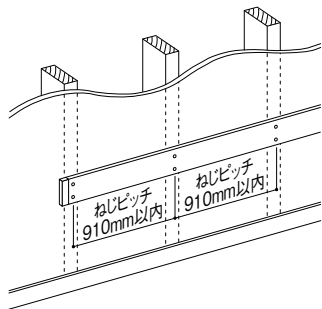
2 下地の確認・補強

手すりを取付ける箇所に下地があることを確認してください。下地のない場合には、下記を参考に下地の補強を行ってください。

木造壁 + 木製ベースプレート

現代日本の住宅で最も多く見られる壁構造。石こうボードの裏側に柱・間柱などの下地があり、手すりブラケットは必ず下地へ固定します。手すりを取付けたいところに下地が無い場合は、木製ベースプレートで下地補強を行い、その上にブラケットを固定します。

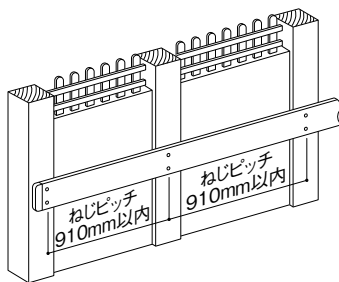
- ※木製ベースプレートにねじ止めする場合は、必ずφ2.8mmの下穴をあけてください。
- ※木製ベースプレート80mm幅の場合は、ねじピッチ500mm以内。



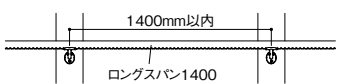
土壁(竹小舞下地) + 木製ベースプレート

和室でよく見られる壁。土や砂を塗りつけている壁面は強度がなく、ねじを打ち込むとポロポロと崩れる恐れがあるため、ブラケットやベースプレートは柱に固定します。また、壁面と柱面に段差(チリ)があるため注意と工夫が必要です。

- ※木製ベースプレートにねじ止めする場合は、必ずφ2.8mmの下穴をあけてください。
- ※木製ベースプレート80mm幅の場合は、ねじピッチ500mm以内。(真壁で500mm以内に柱がない場合は使用不可。)
- ※ブラケット固定ねじは⊕丸皿タッピンねじ3.5×20(別売)を別途用意してください。

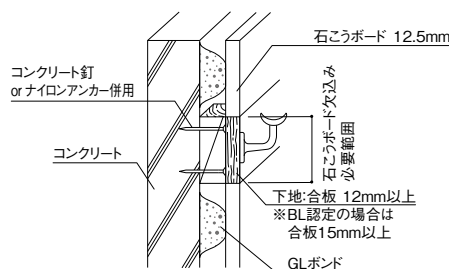
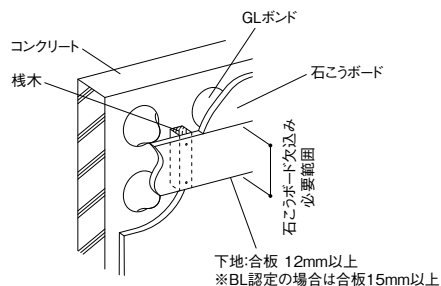


- ロングスパン1400や襖脱着手すり棒などブラケットピッチの長い手すりを使用する場合は、木製ベースプレートは不要です。



GL工法 + 下地補強

石こうボードとコンクリートの間に空洞部分があるため、そのままでは手すりを固定できません。石こうボードを欠込んで下地を作り、そこへブラケットを固定します。



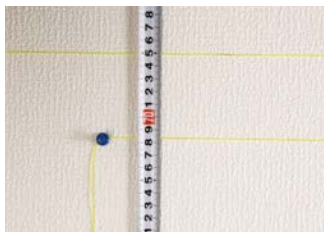
⚠️ 施工上のご注意

- コンクリート下地・コンクリートブロック壁には取付けできません。

⚠️ **ベースプレートの取付け方はP.126~を参照の上、正しく施工してください。**

脱落等、重大な事故が起こる可能性があります。

3 ブラケットの仮固定



手すり取付け高さからブラケット座の中心までの寸法分下がった位置に水糸とピンなどでブラケット座の中心を出し、ブラケットの中心を水糸に合わせて下段の穴1か所をねじで仮止めします。

- ※手すりからブラケット座の中心までの高さは商品により異なります。
- ※<https://www.firstreform.com>の「施工マニュアル・納まり図集」より「納まり図集」もご参照ください。
- ※必ず下地のある場所に取付けてください。下地のない場合はベースプレートをご使用ください。

4 手すり棒の長さ調整



ブラケットを取付け、手すり棒をブラケットに仮置きし、長さを調整します。

※ブラケットピッチは手すり棒の太さφ35の場合は900mm以内、φ32の場合は700mm以内、ロングスパン1400の場合は1400mm以内としてください。

5 ブラケットの固定



手すり棒の調整が終われば、ブラケットをねじで本止めします。本止めが終われば水糸を取除いてください。

6 手すり棒の固定



手すり棒をどちらか一方から順番に取付けます。

※手すり棒を仮止めする際は、必ず2個(本)以上のブラケット(支柱)へ手すり棒をのせて作業を行ってください。ねじやブラケット(支柱)が破損する原因になります。

※手すり棒やベースプレートにねじを止める場合は必ずφ2.8mmの下穴をあけてから取付けてください。

※ディンプル付手すり棒の場合、ディンプルは下側または壁側斜め45°に向けての設置を推奨します(横手すりの場合)。

Webサイトから
施工マニュアルをダウンロードできます。
<https://www.firstreform.com>

